

スクールカウンセラーだより 2



田んぼには水が入り、カエルも元気に鳴きだしました。
なんとなく過ごしやすい陽気になってきましたね。
毎日が忙しいからこそ、自然を感じながらゆっくりと過ごしたいと思います。

子どものイタズラは好奇心の現われ

好奇心の旺盛な子ほど、様々なことにチャレンジします。
そのチャレンジは大人の予想もつかない内容であることが多く、
イタズラをすると怒られることも多くなります。カウンセラーもじっとしていたほうではないので、
道で何かを拾ってきては投げて遊んだり、機械を分解しては直せずに怒られたりとしていました。
でも、そのことで好奇心が満たされ、満足感に浸っていました。
勿論、あとには泥だらけの洋服だったり、バラバラになった機械の部品が残っており、
どう言い訳をしようか考えていました。
家に帰れば怒られもしましたが、親は諦めていたのか、「またかい」というよう感じで、
さっと切り替えてくれていたように思います。
イタズラは子どもの好奇心からくるものです。人を傷つけるようなことはイタズラとは言いません。
好奇心からくるものは認めてあげたいと思います。



お手伝いは思考力や想像性、責任感を育てます

カウンセラーは、お手伝いの話をよくします。
お手伝いは、子どもの想像性も育てるように考えています。
例えば配膳のお手伝い。食器の大きさを誰のお茶碗かを考えます。お箸の並べ方を考えます。
そして、次に何を用意したら良いかも考えます。調味料など必要なものはないかも考えます。
掃除も手順はどうしたら良いのかを考えます。どのように片づければ使いやすいかを想像します。
お手伝いは自分で考える事のスタートだと思います。
また、家の中で役割を与えられる事で家族の一員としての責任感も生まれます。



子どもにとって、魅力的な場所とは、どんなところだろうか

子どもにとって魅力的な居場所とはどんなところか考えてみました。

① 自分の良いところを、好きな事を活かせる場所 <<活躍できる場>>

子どもはいろいろな事にチャレンジします。その場があるところです。

自分らしさを表現できる場の事です。

家ではお手伝いがそのイメージになります。学校では係活動などになるでしょう。

自分が人のために活躍する場の事です。

② 自分を認めてくれる人がいるところ <<頼れる人・仲間>>

そして、活躍したことを褒めてくれる人がいる事です。

家では親がその立場になります。学校では先生やクラスメイトになりますね。

認め方も言葉で褒める事は大切ですが、オーバーアクションで褒めたり、ハグしたりなど



印象に残るような褒め方をしたいですね。

③ 自分のペースで考えられる時間 <<ゆっくりした時間の流れ>>

その次に考えるのは、自分らしい時間の流れですね。

今の世の中、子ども達にとってはゆとりが少ないように思います。

結果を求めるあまり、ゆっくりとした時間が取れないように思います。

のんびり、ゆっくりできる場も大切でしょう。

何となく考えたものですが、子ども達の場所を考えたときに、意識したい内容だと思いました。



地域での様々な経験を高めたい

人との関係や社会のルールなど、学校だけでは十分に学べない事もあります。

その為、地域に出て様々な人と出会い、様々なチャレンジもして欲しいと思います。

公園に出かけて、仲間と一緒に虫を探しても良いでしょう。街探検しても良いでしょう。

また、地域の活動の中には学校とは別の新しい発見もできるかも知れません。

地域サークルに関わって、地域の人たちとの関係で挨拶やルール等を身に着けても良いでしょう。

学校でも挨拶に必要性や社会のルールは教えます。

ですが、実践しなければ身に着いたものになりません。

ですから、積極的に地域に出ていく必要があると思うのです。



本当に子どもを怒るときには

大きな声で怒鳴ると、小さな子どもは委縮し、行動を辞めます。

ただし、単に怖いからやめているだけで、

多くの場合、何故辞めなければならないのかは考えられていません。

本当に辞めさせたいときには、大きな声ではなく、むしろトーンを落として表情を作って、静かに考えさせることが効果的だと言われます。

大きな声で怒鳴っているときには、怒っている人も殆どが感情的になっているだけです。

そこでは、その後の事まで考えてはいません。

小さな声で淡々と叱るときには、子どもにどうしたら良いか考えさせるという冷静さがあります。

子どもが成長してくると、大きな声で感情的に怒鳴ったら、子どもも感情的になってくるだけです。

小さな声で諭したときには、自分で考える時間を意識します。さて、どちらが効果的でしょうか。

生まれてくる命

子どもたちの命に係わる事件報道が気になります。

生まれてくる子どもの命は、本来は喜ばれるものだと思います。

でも、カウンセラーをしていると、それは簡単な事ではないと思うときもあります。

周囲の無理解で、子育てが苦しい状態での育児であったり

発達特性などを子育てが難しく、苦しんでしまう事もあったり、

でも、そこにいる子どもには何の責任はありません。

子ども達は笑顔で豊かに生きていって良いのです。

それを見守るのが大人の役割だと思います。

カウンセラーは、子ども達の笑顔のために、ほんの少しだけ、お手伝いできればと思います。

